

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ https://www.nkkswitches.co.jp/ において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務課：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

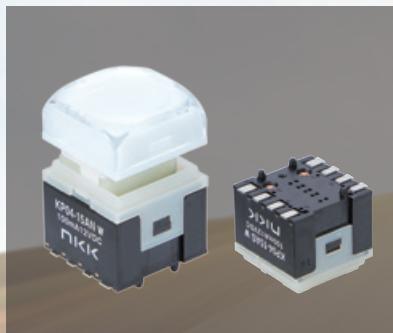
第70期報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

NKKスイッチズ株式会社

すべてのお客様の製品の品質向上に役立つべく、NKKは絶えず革新し続けます

Information



第57回機械振興賞 機械振興協会会長賞を受賞

照光式押ボタンスイッチ KP04シリーズ

一般財団法人 機械振興協会が主催する第57回機械振興賞においてKP04シリーズが「機械振興協会会長賞」を受賞しました。

テレビなどの放送現場では、カメラなどの切り替えのタイミングを正確に行うための繊細なスイッチ作業が要求されます。そのため、押ボタンスイッチのON/OFFの切り替わりのタイミングと、指に伝わるクリック感が一致することが求められています。

KP04シリーズでは、操作感を損なうことなく、押ボタンスイッチの接点がONに切り替わるタイミングとクリック感が発生するタイミングの同期を実現しました。

北米市場が大幅に躍進し、
グループ全体でも増収増益となりました。
引き続き「納期」と「信頼」を強化し、
将来の発展に備えて
盤石な体制の構築に努めます。



代表取締役社長

大橋智成

この1年間の外部環境と、 当期業績の概況をお聞かせください。

2023年3月期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症を起因とする経済活動制限が緩和される一方で、資源・エネルギー価格の高騰、米中対立の激化など地政学的リスクが高まり、欧米を中心とする金融不安に対する不透明感がさらに強まっております。日本経済におきましては社会経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、エネルギー価格の高騰や物価上昇など、予断を許さない状況が続いております。産業用スイッチを含む制御機器市場全体は活況を呈し、NECA（一般社団法人日本電気制御機器工業会）の統計データによれば2022年度における制御機器市場全体の出荷総額は統計史上初の8,000億円台となりました。

このような環境の中、当社グループは2030年のありたい姿として制定した新グループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、2023年3月期から3カ年の新中期経営計画をスタートいたしました。また新たな行動理念として「信頼し、信頼される良い会社」を制定し、「信頼」と「納

期」を重点テーマとしてグループの総力を結集してこれらに関する戦略を積極的に展開いたしました。

売上面では、半導体不足や原材料の高騰が引き金となって過度の発注が続くとともに、円安基調の為替がプラスに働きました。とりわけ業績を力強く牽引したのが北米市場での売上です。カタログディストリビューターを中心とするネットセールスがきわめて好調で、さらに放送音響機器関係のスイッチ類がユーザーからの需要で伸び、リーディングカンパニー向けの大型案件も決まり始め、売上高は日本市場に迫る勢いでした。日本市場は原材料の調達難を全社的な対応でのぎながら、特定市場向けの販売強化やソリューションビジネスの確立に取り組み、前期実績を上回りました。これに対して中国市場は、第1四半期に上海のロックダウンにより販売活動が制限されるなど、政策に足を取られたことなどが影響して低調でした。また利益面では、コロナ禍で控えていた大型投資を再開しましたが、売上が増えたことで営業利益は前期実績を上回りました。

これらの結果、当社グループの2023年3月期における売上高は10,328百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は889百万円（同11.1%増）、経常利益は1,042百万円（同18.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は826百万円

(同42.2%増)と、増収増益となりました。売上が100億円台を超えたことは喜ばしいことですが、我々の努力だけでなく、過度の発注と円安といったフォローの風が吹いたことでこの結果につながったと認識しております。

新中期経営計画の進捗状況はいかがですか。

当社グループは2023年3月期から3年にわたる新中期経営計画をスタートさせました。この1年は成長の土台づくりに注力し、数字にはまだ結びついていないものの、水面下でさまざまな策を講じました。「納期」につきましては、生産が難しく歩留まりがあまり良くなかった隘路部品金型の更新や修理件数を例年の2~4倍に増やし、新型の金型製作を強化しました。これによりボトルネックが解消されて生産効率が上がり、納期遵守率が向上するものと考えております。金型完成後の施策につきましても、海外の生産工場を使うなどこれまでにない取り組みを進めました。また「信頼」につきま

しては、社内での対話を重視してさまざまなコミュニケーションの場を設けており、徐々に効果が現れるものと期待しております。2023年3月期については、今後の成長を支える土台が築かれつつあると認識しております。このため2024年3月期につきましても、経営方針や組織を一切変えることなく現下の施策を継続してまいります。

「機械振興協会会長賞」受賞についてどのような感想をお持ちですか。

2022年3月に発売した照光式押しボタンスイッチ「KP04」シリーズが、一般財団法人機械振興協会が主催する第57回機械振興賞において機械振興協会会長賞を受賞しました。「KP」は放送・音響機器向けに開発されたスイッチです。放送局等の現場では画像や音声を正確なタイミングで切り替えるため、きわめて繊細なスイッチ作業が要求されます。このため押しボタンスイッチのON/OFFの切り替わりタイミングと、スイッチャーの指に伝わるクリック感が一致すること

が求められます。従来の商品はスイッチを押すタイミングとクリック感にわずかながらズレが生じてしまい、お客様が求めるレベルにお応えできていませんでした。これに対して「KP04」はクリック感を発生させる部品がクリックを発生すると同時に接点をON/OFFさせることで、極限までタイミングを同期させています。当社グループはモノ売りからコト売りにシフトしてソリューションビジネスを積極的に展開しておりますが、本商品もお客様の困りごとを解決するため研究を重ね、スイッチを押すタイミングとクリック感の差を革新的に縮めたものです。今回の受賞は我々の日々の取り組みが評価された結果であり、大変誇らしく思います。それと同時に試作品にご意見をいただいたお客様をはじめ、商品化にご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。

本年12月に創業70周年を迎えることについてコメントをいただけますか。

当社グループがスイッチ一筋で70年歩むことができたのは、我々を取り巻く方々のおかげです。この間さまざまな困難に遭遇しましたが、そのつどお客様や協力会社様をはじめ、多くの方々にご支援いただき、ここまで成長することができました。改めてNKKに関わってくださった皆様に感謝申し上げます。70年存続できたキーは、ものづくりのあくなき追求という決して諦めない姿勢にあります。そういう中で品質・技術を武器に、お客様と信頼関係に基づく持続的なビジネスを努めてまいりました。これこそが、我々にとっての最大の財産であると確信しております。我々としめては今後とも真摯な姿勢でお客様と向かい合い、お客様との真のパートナーシップを醸成し、さらにはメーカーとしての役割を誠実に追求することによって、また新たなページをめくることができればと考えております。

2024年3月期の市場環境について見通しを伺えますか。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが2023年5月8日に2類相当から5類へ変わり、長く続いたコロナ禍から徐々に解放されるビジネス環境になってきたことで、今後に期待しています。ただ為替変動や原材料・エネルギー価格・輸送費等の高騰が続くなど、経営環境は予断を許さない状況にあります。産業用スイッチを含む制御機器業界においては、先ほども話に出ましたようにここ2年過度な発注があって、どこかの企業も受注残が積み上がっています。これは半導体不足や原材料の調達難を原因とするものですが、半導体の供給不足が落ち着いてきており、現状は調整プロセスに入りつつあるのではないのでしょうか。このため経営のかじ取りが難しくなっています。当社グループの2024年3月期に限れば、受注残がそれなりにあるため上期は売上に特に問題はないと思われるものの、下期に対応できるよう早々に施策を打つ必要があると感じています。

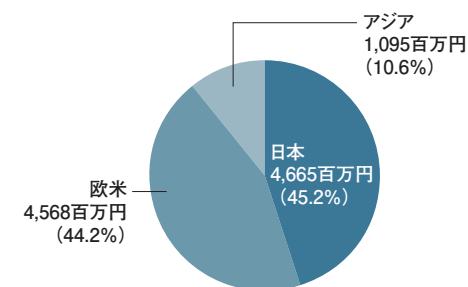
最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

我々は2030年にどんな時代を迎えようとも、グループビジョンである「私たちが笑顔になり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーになります。」を実現するため、総力を挙げて新中期経営計画を推進しております。「信頼」と「納期」は企業の基盤であり、2030年のありたい姿を実現するためには、この3年間で強化する必要があると考えております。2023年3月期の1年は着実に歩むことができましたが、残り2年につきましてもさらに盤石な体制を構築して、将来の発展に備えたいと考えております。

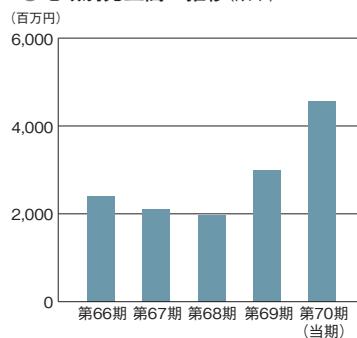
株主の皆様には何卒ご理解いただき、これから変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 地域別売上高の推移

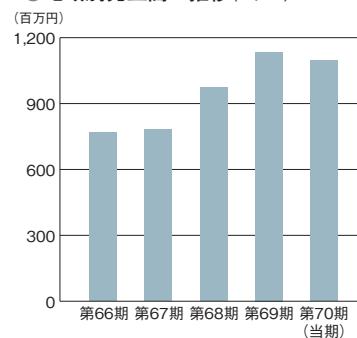
● 地域別売上高構成



● 地域別売上高の推移(欧米)



● 地域別売上高の推移(アジア)



NSA過去最高売上げ更新

当社グループの米国販売子会社であるNKK Switches of America, Inc. (NSA) では、前年度に続き過去最高売上額を達成し、2年連続で最高売上を更新しました。主な要因として、SNSでの動画配信や教育現場向けなどで放送音響機器の需要が増加する中、同市場向けのISシリーズやKPシリーズの売上げが増加しました。また、各業界のリーディングカンパニーに対する積極的なマーケティング活動や、カタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」にも注力したことが、好調な業績につながりました。



▲KPシリーズ



▲Digi-Key社からの感謝状

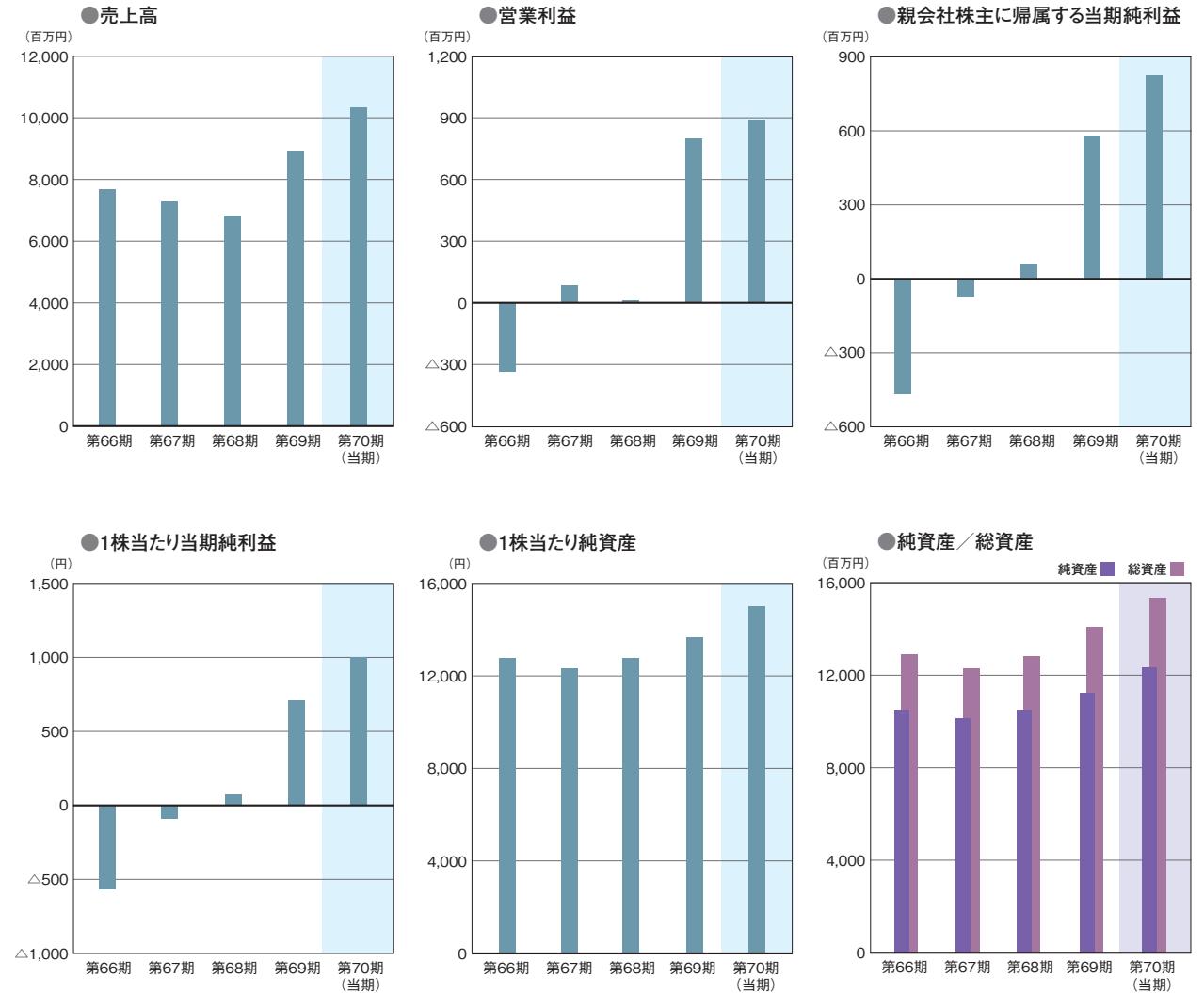
新たな成長に向けての投資

当社グループは、コロナ禍で抑えていた投資を徐々に再開し、生産増強に向けた自動検査機の導入や生産設備の増強を積極的に行ってまいりました。また、当社では初めてとなる2交代制による生産や、中国春節（旧正月）期間中の生産継続など様々な施策を展開したことにより、最高レベルの生産額となりました。さらに部品の安定調達を実現すべく経営資源を集中し、例年の約4倍となる金型の更新や改良を実施しました。今後も新たな成長に向けた投資を継続してまいります。



▲自動検査機

主要財務データ（連結）



■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2023年3月31日)	前期 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産	11,166,560	10,540,390
現金及び預金	5,388,497	5,416,009
受取手形	562,713	572,944
売掛金	1,066,624	1,118,503
商品及び製品	1,489,723	1,058,879
仕掛品	80,323	74,753
原材料及び貯蔵品	2,026,074	1,933,738
前払費用	58,860	48,993
その他	498,856	320,315
貸倒引当金	△ 5,113	△ 3,747
固定資産	4,186,827	3,533,671
有形固定資産	2,286,673	2,047,062
建物及び構築物	1,164,131	1,150,621
機械装置及び運搬具	244,908	153,626
工具、器具及び備品	187,634	142,158
土地	359,510	354,627
リース資産	109,399	147,237
建設仮勘定	221,088	98,791
無形固定資産	55,658	57,217
投資その他の資産	1,844,496	1,429,391
投資有価証券	1,223,206	1,009,060
長期貸付金	201,931	53,719
繰延税金資産	77,128	42,145
長期預金	200,000	200,000
その他	142,228	124,466
資産合計	15,353,388	14,074,061

(単位:千円)

科目	当期 (2023年3月31日)	前期 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債	2,476,422	2,367,448
買掛金	1,464,341	1,504,880
未払法人税等	114,295	36,838
賞与引当金	108,301	98,936
役員賞与引当金	30,000	24,000
未払金	378,512	325,665
未払消費税等	8,891	9,530
未払費用	237,825	193,208
リース債務	17,980	41,425
その他	116,274	132,963
固定負債	553,594	483,354
繰延税金負債	168,460	106,183
退職給付に係る負債	81,437	81,030
役員退職慰労引当金	197,800	181,020
リース債務	105,364	114,615
その他	532	505
負債合計	3,030,017	2,850,802
純資産の部		
株主資本	11,124,449	10,421,775
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,501,461	8,798,625
自己株式	△ 162,116	△ 161,955
その他の包括利益累計額	1,197,177	800,889
その他有価証券評価差額金	530,561	373,146
為替換算調整勘定	666,615	427,743
非支配株主持分	1,744	594
純資産合計	12,323,371	11,223,259
負債純資産合計	15,353,388	14,074,061

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	10,328,644	8,938,881
売上原価	6,164,559	5,152,389
売上総利益	4,164,085	3,786,492
販売費及び一般管理費	3,274,996	2,986,387
営業利益	889,089	800,104
営業外収益	174,391	98,913
営業外費用	20,705	20,612
経常利益	1,042,775	878,406
特別利益	57,542	—
特別損失	6,422	207,902
税金等調整前当期純利益	1,093,895	670,503
法人税、住民税及び事業税	293,635	94,012
法人税等調整額	△ 27,165	△ 4,566
当期純利益	827,425	581,056
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	1,149	△ 58
親会社株主に帰属する当期純利益	826,275	581,115

■ 連結株主資本等変動計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資 産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	951,799	833,305	8,798,625	△ 161,955	10,421,775	373,146	427,743	800,889	594	11,223,259
当期変動額										
剰余金の配当			△ 123,439		△ 123,439					△ 123,439
親会社株主に帰属する 当期純利益			826,275		826,275					826,275
自己株式の取得				△ 161	△ 161					△ 161
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						157,414	238,872	396,287	1,149	397,437
当期変動額合計	—	—	702,836	△ 161	702,674	157,414	238,872	396,287	1,149	1,100,112
当期末残高	951,799	833,305	9,501,461	△ 162,116	11,124,449	530,561	666,615	1,197,177	1,744	12,323,371

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	614,114	190,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 606,082	△ 192,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 166,699	△ 137,146
現金及び現金同等物に 係る換算差額	131,155	161,361
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 27,511	22,185
現金及び現金同等物の期首残高	5,416,009	5,393,823
現金及び現金同等物の期末残高	5,388,497	5,416,009

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2023年3月31日)	前期 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産	8,703,794	8,579,779
固定資産	4,720,268	4,162,200
資産合計	13,424,063	12,741,980
負債の部		
流動負債	3,840,219	3,555,293
固定負債	421,449	463,425
負債合計	4,261,669	4,018,719
純資産の部		
株主資本	8,631,832	8,350,114
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	7,008,844	6,726,965
自己株式	△ 162,116	△ 161,955
評価・換算差額等	530,561	373,146
純資産合計	9,162,394	8,723,261
負債純資産合計	13,424,063	12,741,980

■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	8,795,781	7,664,209
売上原価	6,659,092	5,236,878
売上総利益	2,136,689	2,427,331
販売費及び一般管理費	2,052,234	2,095,301
営業利益	84,454	332,029
営業外収益	369,015	267,794
営業外費用	33,901	18,872
経常利益	419,568	580,951
特別損失	4,989	192,718
税引前当期純利益	414,579	388,233
法人税、住民税及び事業税	39,289	17,216
法人税等調整額	△ 30,027	16,878
当期純利益	405,318	354,139

■ 株主資本等変動計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	資本剰余金 合計			評価・換算 差額等	純資産 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	固定資産圧縮 記帳積立金	繰越利益 剰余金							
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	18,338	5,600,000	926,709	6,726,965	△ 161,955	8,350,114	373,146	373,146	8,723,261
当期変動額													
剰余金の配当							△ 123,439	△ 123,439		△ 123,439			△ 123,439
固定資産圧縮記帳積立金の取崩					△ 825		825	-		-			-
当期純利益							405,318	405,318		405,318			405,318
自己株式の取得									△ 161	△ 161			△ 161
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											157,414	157,414	157,414
当期変動額合計	-	-	-	-	△ 825	-	282,704	281,879	△ 161	281,717	157,414	157,414	439,132
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	17,513	5,600,000	1,209,413	7,008,844	△ 162,116	8,631,832	530,561	530,561	9,162,394

■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	1951年4月1日
設立	1953年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結288名 単体148名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ バイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Europe GmbH NKK Switches Mactan, Inc. 恩楷楷开关(东莞)有限公司
ホームページ	https://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
専務取締役	大橋 宏成
取締役	海老沼 博行
取締役	芦澤 直太郎 (社外)
監査役	青木 明裕
監査役	京谷 典昭 (社外)
監査役	内木 雅彦 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,600,000株
発行済株式の総数	842,520株
株主数	582名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッジ	132	16.04
株式会社三井住友銀行	40	4.98
株式会社SBI証券	30	3.68
大橋 宏成	29	3.56
大橋 尚子	28	3.41
太陽生命保険株式会社	22	2.74
大橋 千津子	20	2.44
久保田 正明	20	2.43
大橋 智成	19	2.34
INTERACTIVE BROKERS LLC	18	2.27

(注) 1. 当社は、自己株式を19千株保有しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

